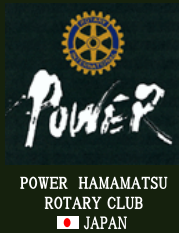


国際ロータリー第2620地区
静岡第5グループ



週報 パワー浜松ロータリークラブ

ニューパワーを発揮してみんなでつながろう

RI会長 マーク・ダニエル・マローニ / 第2620地区ガバナー 安間みち子 / 会長 小田木基行 / 幹事 堀内善弘
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークアクティシティ浜松4307号室 Tel:053-452-0800
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC



第794回例会1月7日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラアクティシティホテル浜松 30階 パガニーニ
- 司会：諸星圭吾 土屋公良
- 点鐘：小田木基行 ■週報：村木則予
- ロータリーソング：手話「希望のエナジー」
- ゲスト：朝日新聞社浜松支局員兼掛川支局長 長谷川智様
米山記念奨学生 サイ・ピョー・ミエン・マオさん

出席報告/スマイル報告

会員数 79名 (内出席免除会員 2名)
出席数 64名 出席率 83.12%
前々回出席率 72.73%

スマイルなし

会長挨拶



小田木会長

幹事報告



堀内幹事

明けましておめでとうございます。

年末、お正月の風物詩と言えば私の子供のころは年末は餅つき 大掃除のすす払いで、正月は男の子は凧揚げ、コマ回し、女の子は羽子板、福笑いとこたつでみかんを食べながらの団欒がありました。最近はどうですか？私は辛うじて孫と佐鳴湖湖岸で凧揚げをしました。

最近の行事と言えば正月の2日3日は箱根間往復大学駅伝競走が話題となり10位以内に入らなければ予選会からと厳しい順位争いが繰り広げられます。時代が変わり食料品店がお正月開いてないから御節を頼みましたが今は正月からお店は開いています。

仲人親への挨拶もめっきり少なくなりました。お互いに楽しくコミュニケーションがとれる時代になるといいですね。

本日の配布物は2点あります。2月25日のIMチラシとロータリーの友1月号です。ぜひご覧ください。

委員会報告

<職業奉仕委員会>

和光寮から「プラネタリウムありがとうございました」というメッセージ付きの色紙が届きました。

米山記念奨学生

サイ・ピョー・ミエン・マオさん挨拶

2019年は人生でなかなかできない体験をみなさまのおかげですることができました。学校は2週間休みだったが、鷺津さんからマンマー写真集をプレゼントしてもらい、休んでいる間に写真集を見て母国に戻った感じがして感動しました。いつもみなさまの愛をたくさんいただいています。今年もよろしくお祈りします。



議 事



会場監督「令和の時代のやらまいかを探る」

長谷川智様 「遠州考-やらまいかを探る」著者
早稲田大学政経学部卒業後、朝日新聞記者として活躍。

「遠州考」は、一昨年から毎週金曜日に掲載しています。この記事は、地方創生の観点で書いています。鍵になるのは人と地域資源。元気な人、地域資源を発掘して磨いて発展させていくことが大切です。遠州には色々な地域資源がある。それを発掘して頑張ろうという考え方でいます。

現時点の暫定的結論でいえば、遠州には、自由に考える風土があり、イノベーションの時代に非常にいいと思われま。そして、積極的な行動力。やらまいか精神があります。これは中部・東部とは違います。

遠州の偉人は立派な人というより、ものすごいエネルギーを持った大変な人でした。「ことを成す」には、そういうエネルギーが必要でそれを支える人も必要。

●なぜこうなったか

さて、遠州がなぜこうなったかですが、遠州の風土温暖な気候が一因と思われま。そして多彩な自然。海、山、川、湖。大地、大地って日本にそうありません。大きな大地が3つもあるのは珍しい。そして平野。

さらに歴史的な条件です。東海道があり、人と情報の流通が昔から盛んで、先端と常に接触していました。

強大な領主不在。強い政治権力がないので、忖度不要。本音で生きていけばよく、民が強かった。

暴れ天竜との格闘は、金原明善が出てきて豊かな都

市になりました。

地方都市で空襲による死者が多いまちは広島、長崎に次いで浜松。浜松は重爆撃部隊の拠点でした。米軍も余った爆弾を浜松に落としていった。軍需工場がいっぱいできて新しい機械がきた結果、ヤマハなどもその恩恵を受けています。そして、空襲で焼け野原になったところから立ち上がってきた粘りもあります。

●特徴

開放的な風土は特徴の一つです。そして囚われのない行動力があります。強い官がなく忖度の必要がないことが要因です。

また報徳精神、やらまいか精神が根付いています。

短所は粗雑さと乏しい文化です。内省的に色々考えない。とにかくやればよいという傾向があります。

●各論 1 : 1 丘浅次郎と掛塚

丘浅次郎は生物学者で、生物は強みで強力になるが、それがいずれ弱みに転じて滅びていくことを説明。

●各論 2 : 女性たちのやらまいか

遠州織物の発展に貢献した小山みいさん。最初 3 人くらいの女性から始まり、のちに大規模化すると男性の産業になるという経緯をたどりま。

●各論 3 : 静高・静商を超えろ

戦前の遠州は野球が弱かった。戦後、浜商が伸びてきました。今は遠州人脈が野球を育てています。

●各論 4 : 医療のやらまいか

聖隷の長谷川保は、戦前に結核患者をかくまって迫害に遭い、三方原の果てに追いやられました。

●各論 5 : 報徳の輝き

遠州で報徳が最初に広まったのは浜松でした。報徳をもう少し積極的なものとして見直してもいいと思う。

●各論 6 : 浜名湖の韋駄天

田畑政次さんは遠州人そのもの。アイデアもあり実行力もある。周りもかまわずどんどんやっていった。

<中略>最後に遠州への提案です。

- ・やらまいか精神と報徳精神を発展させよう。
- ・自由な行動を許容しよう。
- ・出る杭を伸ばし支えよう。
- ・遠州の各地を各自が見極めよう